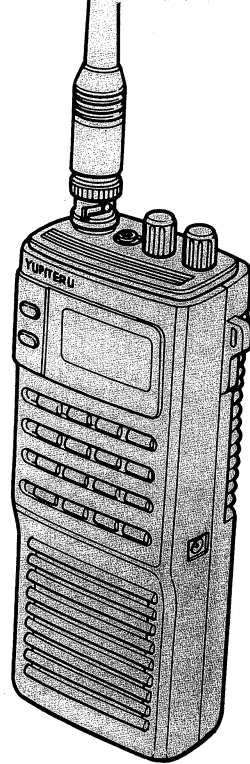


YUPITERU



マルチバンドレシーバー
MVT-3200

取扱説明書

はじめに

このたびはユビテルマルチバンドレシーバーMVT-3200をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、大切に保管してください。

万一ご使用中、わからないことや具合の悪いことが生じたときにお役に立ちます。

目次

第1章	使用前の確認・準備	3
	主な特長	4
	付属品	5
	使用上のご注意	6
	各部の名称とはたらき	8
	電源について	15
第2章	基本的な操作	17
	キー操作を始める前に	18
	数値キーによる選局	20
	モニター機能	24
	キーロック機能	24
第3章	サーチについて	25
	サーチ機能について	26
	サーチバスメモリーについて	30
第4章	メモリーとスキャンについて	35
	チャンネルメモリーのしかた	36
	メモリーチャンネルの呼び出し	38
	チャンネルメモリースキャンについて	44
	バンクスキャンについて	46
	プライオリティ機能について	48
第5章	便利な機能	51
	サーチバンドの内容書き替え	52
	ピープ音の消去	54
	ランプ機能	54
第6章	知っておきたいこと	55
	故障かな?と思ったら	56
	アフターサービスについて	58
	一般仕様	58

第1章

使用前の確認・準備

主な特長	4
付属品	5
使用上のご注意	6
各部の名称とはたらき	8
・ 本体	8
・ ディスプレイ	10
・ キーボード	12
電源について	15
・ 充電のしかた	15
・ 電池について	16

主な特長

■マイクロコンピュータによる豊富な操作機能

本機はマイクロコンピュータ技術を駆使し、マニアの要望に応える多彩な機能と、ビギナーのための簡単操作を実現した高性能受信機です。

■10バンドサーチ機能

本機は無線式盗聴器用電波やパーソナル無線など主要なバンドを、周波数を調べずに簡単に受信できるサーチ機能を装備。さらに、そのバンド(2~9,0)の内容を書き替えることができます。*バンド1は、書き換えできません。

■100チャンネルメモリー機能

聴きたい局を最大100チャンネルまで登録できる、大容量の100チャンネルメモリー機能。さらに、そのメモリーチャンネルを効率よく受信できるメモリースキャンやバンクスキャン、プライオリティ機能など、多彩な機能を備えています。

■高速スキャン／サーチ機能

本機のスキャン／サーチスピードは、1秒間に約30チャンネル／40ステップと高速です。*BUSTERサーチを除く。

■サーチバスメモリー機能

サーチ中の不要な周波数をバス登録することで、効率的なサーチが可能です。

■モニタースイッチ

受信信号が弱く途切れる交信も聴き取りやすくします。

■3電源方式

豊富な付属品により、ニッケル電池での携帯使用から、ACアダプターによる家庭電源使用、カーコネクターによる車載(12Vシガーライターソケット専用)使用までフル対応しています。

■豊富な受信機能／操作機能

- バスメモリー機能
- シグナルメーター
- ピープ音ON/OFF機能
- キーロックスイッチ

フレキシブルアンテナ

(1)

ACアダプター

(1)

カーコネクター

(1)

ニッケル電池

(4)

ハンドストラップ

(1)

ベルトクリップ

(1)

ベルトクリップ取付用ネジ

(2)

イヤホン

(1)

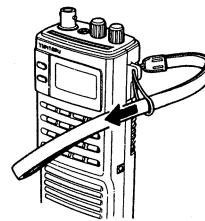
取扱説明書／保証書

(1)

ご相談窓口一覧

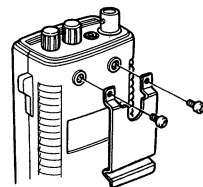
(1)

ハンドストラップ



本体側面に図のように取り付けます。

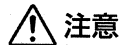
ベルトクリップ



本体背面に図のように取り付けます。

付属品

安全上のご注意



注意

- ぬれた手で、電源プラグなどの抜き差しはしない。
- コード類を無理に曲げたり、重い物をのせたりしない。
- 本機は精密機器ですので、中をあけ内部に触れたり、金属や異物を入れない。
- 付属品以外のACアダプターやカーコネクターは絶対に使用しない。

アンテナについて

- 付属のフレキシブルアンテナ以外に、市販のアンテナも使用できますが、その際は、受信周波数に合ったアンテナを使用してください。
- 近くに放送局など強い電波があるときは、良好な受信ができないことがあります。また、増幅回路付きの外部アンテナなどは使用しないでください。

置き場所について

- 次のような場所での使用や放置はしないでください。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く、あるいは炎天下の自動車内など温度の高くなる場所
 - 湿度の高い場所や風通しの悪い場所
 - ホコリや油煙の多い場所
 - 非常に温度が低い場所
 - 無線機やテレビ、ラジオ、パソコン等のデジタル機器の近く、車内使用では雑音が入る場合があります。

取り扱いについて

- 持ち歩くときは、落下などの衝撃を与えないでください。
- 本機が汚れたときは、柔らかい布などでふいてください。ポリエステルなどの静電気の起きやすいもの、ベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- 本機は広帯域受信機ですので、受信機内部の発振（スプリアス）により受信できなかったり、雑音を発生する周波数があります。

リセットスイッチについて

- 次のようなときは、リセットスイッチをボールペンの先などで押して、初期状態（工場出荷時の設定）にしてください。
- 購入後、初めて使用するとき
 - 登録した内容をすべて消去するとき
 - ディスプレイの表示が異常なとき

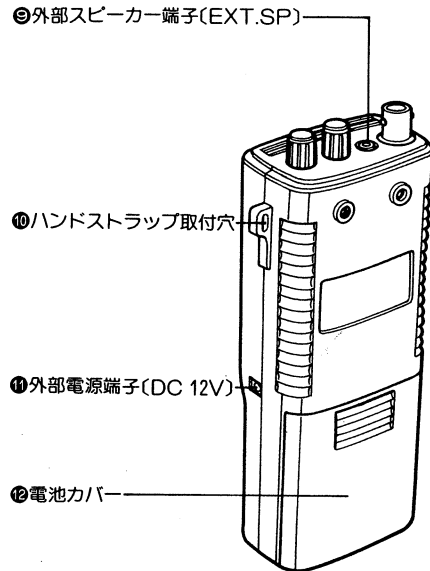
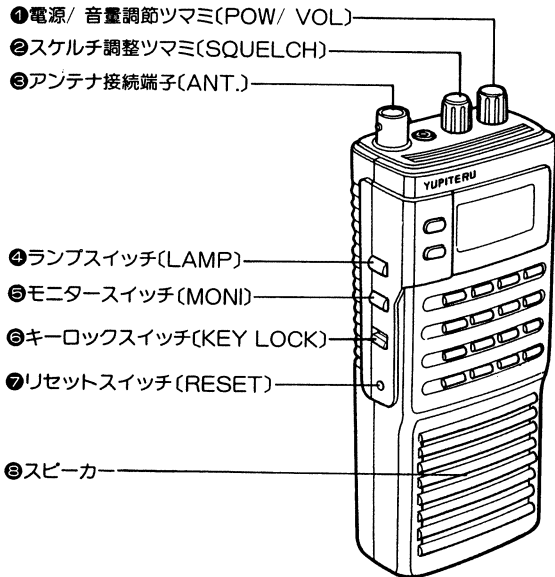
無線局について

- 一部の機密を要する無線局は、市販の受信機では受信できない通信方式（デジタル通信）が採用されています。
- 800MHz帯の一部の周波数では、小ゾーンMCA方式が採用されているため、交信中に周波数が随時切り替わり、受信ができなくなります。
- 盗聴器用電波のバンドには、無線式の盗聴器で多く使用されている27チャンネルがメモリーされていますが、周波数を変えて取り付けられる場合があります。また、正常な目的に使用されている無線局や、二次的に出ている電波もあり、すべてが盗聴器とは限りません。盗聴器の発見には専門知識が必要です。

お客様が受信した内容は、電波法上、第三者に漏らしたり、行動に移したりすることが禁止されています。

万一、異常や不具合が起きたときは、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

本 体



①電源/ 音量調節つまみ(POW/ VOL)

右に回すと電源が入り、さらに回すと音量が大きくなります。

②スケルチ調整つまみ(SQUELCH)

無信号時の「ザー」という雑音を消し、受信信号を最良の状態を受信するために使います。

※スケルチ調整つまみを右へ回しきった状態では、弱い電波は受信できません。

③アンテナ接続端子(ANT.)

付属のアンテナを接続する端子です。

④ランプスイッチ(LAMP)

ディスプレイの夜間照明用ランプのスイッチです。

⑤モニタースイッチ(MONI)

交信局の受信信号が弱く途切れるときに押します。

⑥キーロックスイッチ(KEY LOCK)

ONにすると前面の各キーの動作を無効とします。持ち運ぶときなどに使用します。

⑦リセットスイッチ(RESET)

マイコンを初期状態にするスイッチです。

⑧スピーカー

⑨外部スピーカー端子(EXT.SP)

外部スピーカーやイヤホン用の端子です。この端子に接続されているときは、内蔵スピーカーから音は出ません。

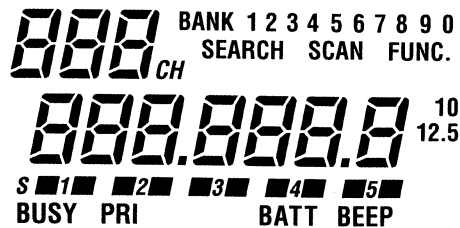
⑩ハンドストラップ取付穴

⑪外部電源端子

付属のACアダプターやカーコネクターを接続することで、電源を供給したり付属のニッケド電池への充電ができます。

⑫電池カバー

ディスプレイ



SEARCH

サーチモードのとき点灯します。

SCAN

スキャンモードのとき点灯します。

FUNC.

ファンクションキーを押すと点灯します。

BANK

メモリスキャンモードのときに、SCANや登録されているチャンネルのバンクナンバーとともに点灯します。

1～9.0

スキャンモードのバンクナンバー、サーチモードのサーチバンドナンバーとして表示され、スキャンモードで受信中は対応するナンバーが点滅します。

10 12.5

受信中の周波数に対応した周波数ステップが点灯します。

888.

メモリーチャンネルを表示し、メモリーチャンネルを呼び出したときに点灯します。また、バスメモリーしているチャンネルを呼び出したときは、CH表示が点滅となります。

P_{α}

プライオリティチャンネルを受信しているときや、呼び出したとき、登録したときにCH表示とともに点灯します。

P

サーチバス登録したときに点灯します。また、サーチバスしている周波数を呼び出したときは、 P 表示の点滅となります。

888.8888

各モードでの周波数や入力中の数字を表示し、入力途中では点滅し、入力後は点灯します。また、Error、ALL PASS、FULLなど機器の状態を表示します。

S ■1■

シグナルメーター。受信信号強度に応じて点灯します。

BUSY

スケルチが開いているときやモニタースイッチを押しているときに点灯します。

PRI

プライオリティ機能がはたらいっているときに点灯します。

BATT

電池が消耗し、充電や電池の交換が必要なときに点灯します。

BEEP

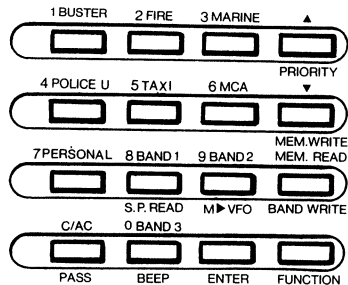
ビーブ音が出るように設定されているときに点灯します。

キーボード

SEARCH



SCAN



◀ダイレクト入力キー▶

サーチキー(SEARCH)

無線式盗聴器用電波からバンド3まで、あらかじめ設定されているサーチバンドのサーチを始めるときや、目的の周波数がわからないときなど、自動的に交信局を探すときに使用します。1度押しでサーチを始め、もう1度押しと解除します。

スキャンキー(SCAN)

あらかじめ登録したチャンネルを順次自動選局するときに使用します。

1度押しでスキャンを始め、もう1度押しと解除します。

数値キー(1~9.0)

周波数の指定やメモリーチャンネルの指定のときなどに使います。また、サーチキーの前に押すと、サーチバンド選択キーとなり、スキャンキーの前に押すと、バンクを指定することができます。

サーチバンド選択キー(BUSTER, FIRE~BAND3)

聴きたいバンドを選択するキーです。続けてサーチキーを押すと、指定のバンドサーチができます。

(数値キーと兼用です。)

BUSTER: 無線式盗聴器用電波	MCA: 業務(MCA)無線
FIRE: 消防、救急	PERSONAL: パーソナル無線
MARINE: 船舶無線	BAND1: 134.0~162.025MHz
POLICE U: 署活系	BAND2: 335.0~452.0MHz
TAXI: タクシー無線	BAND3: 830.0~999.975MHz

クリア/オールクリアキー(C/AC)

周波数やメモリーチャンネルの設定途中で、入力した数値を訂正するときに押します。

1度押しで訂正を受け付ける状態となり、数値キーで訂正できます。

2度押しでオールクリアとなり、入力内容を取り消せます。

アップキー(▲)

・マニュアルモードのときに1度押しと、周波数がディスプレイ表示のステップで、1ステップ移動します。また1秒以上押し続けると、その間周波数を早送りします。

・メモリー呼び出しやサーチパス周波数を呼び出したときに1度押しと、次のメモリーチャンネルやサーチパス周波数が表示されます。また、メモリー呼び出しのときに1秒以上押し続けると、その間チャンネルを早送りします。

- ・メモリースキャンのときは、1チャンネル強制移動キーとしてはたらき、スキャンの方向指定キーにもなります。
- ・サーチのときは、周波数の強制移動キーとしてはたらき、サーチの方向指定キーにもなります。
- ・周波数、メモリーチャンネルの設定途中で、クリア/オールクリアキーを1度押したあとに押すと、訂正する桁を移動できます。

ダウンキー(▼)

アップキーと逆方向のはたらきをします。

メモリーリードキー(MEM. READ)

メモリーチャンネルを呼び出すときや、呼び出し前の周波数に戻すときに使用します。

エンターキー(ENTER)

周波数の設定のときに使用し、このキーを押すことで設定が完了します。

ファンクションキー(FUNCTION)

1つのキーの動作を同色の機能に切り替えるときに使用します。

各部の名称とはたらき

◀ファンクションキーのあとに押すことで動作するキー▶

プライオリティキー(PRIORITY)

プライオリティ機能の設定や解除のときに使用します。

(アップキーと兼用です。)

メモリーライトキー(MEM.WRITE)

チャンネルメモリーをするときに使用します。また、特定チャンネルのメモリーした内容を消去するときにも使用します。

(ダウンキーと兼用です。)

サーチパスリードキー(S.P.READ)

サーチパス登録した周波数を呼び出すときや、呼び出し前の周波数に戻すときに使用します。

(数値キーの8とサーチバンド選択キーのBAND1と兼用です。)

メモリーVFOキー(M▶VFO)

すでにメモリー登録してある周波数をマニュアルモードに移すときに使用します。

(数値キーの9とサーチバンド選択キーのBAND2の兼用です。)

バンドライトキー(BAND WRITE)

サーチバンドのメモリー内容を書き替えるときに使用します。(メモリーリードキーと兼用です。)

パスキー(PASS)

すでにメモリーしてある特定のチャンネルをスキャンモードからパスするときや、サーチパスの登録と解除のときに使用します。

(クリア/オールクリアキーと兼用です。)

ビープキー(BEEP)

キータッチ音の設定や解除のときに使用します。

(数値キーの0とサーチバンド選択キーのBAND3と兼用です。)

電源について

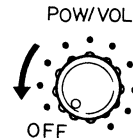
■本機はニッカド電池での携帯使用のほか、ACアダプターによる家庭電源使用、カーコネクターによる車載使用もできます。

充電のしかた

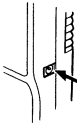
■付属のACアダプターや付属のカーコネクターを使用して充電します。

■初めて使用するときや、使用中ディスプレイにBATT表示がされたときは、必ず充電をしてください。

電源/音量調節ツマミを必ずOFFにします。



2 ACアダプターまたはカーコネクターのDCプラグを、本機の外部電源ジャックに差し込みます。



3 約15時間で満充電となり、通常使用で約6時間の連続動作が可能です。



注意

アルカリ/マンガン乾電池を充電しない。
火災の原因となります。

注意

- ・付属のカーコネクターは、12V車専用です。
- ・カーコネクターには、ヒューズが内蔵されています。ヒューズ交換の際には、必ず同じ定格(1A)のものをご使用ください。
- ・電源/音量調節ツマミをONにした状態では充電できません。
- ・あまりに長時間の充電は、付属のニッカド電池の寿命を短くするだけでなく、発熱などの原因にもなりますのでご注意ください。
- ・ニッカド電池は、こまめに充電をくり返すとメモリー効果という現象が発生して、充電しにくくなります。ときどき、電池の残量を使いきったあと満充電してください。

電池について

- 1回の満充電で使える時間が短くなってきたら、新しいニッカド電池と交換してください。

注意

- ・種類の異なる電池や古い電池などを混ぜて使用しないでください。
- ・電池交換は、必ず電源/音量調節ツマミをOFFにしてから行ってください。
- ・長時間使用しないときは、電池を取り出してください。

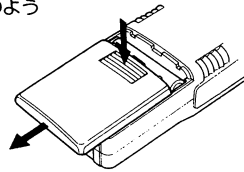
ご使用済みの不要になった
ニッカド電池は、貴重な資源
を守るために、廃棄しな
いでニッカド電池リサイク
ル協力店にお持ちください。



Ni-Cd

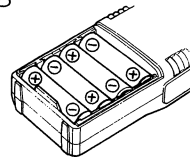
裏面の電池カバーを図のよう
に開けます。

1



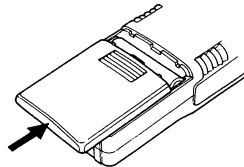
電池4本を⊕⊖確認してから
入れます。

2



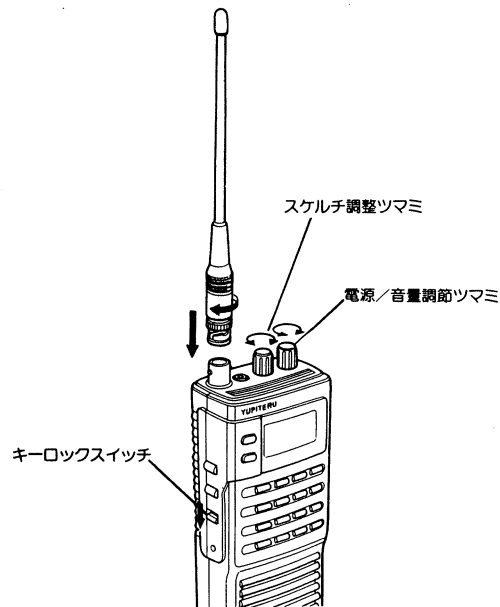
電池カバーを閉めます。

3



第2章 基本的な操作

キー操作を始める前に	18
数値キーによる選局	20
・周波数の入力	20
・1ステップ移動と早送り早戻し	20
・受信周波数範囲とステップ	21
・マニュアルモードについて	21
・入力周波数の訂正	22
モニター機能	24
キーロック機能	24



1 付属のフレキシブルアンテナ(または市販のアンテナ)をアンテナ接続端子に差し込み、アンテナコネクターを時計方向に1/4回転させ固定させます。

2 キーロックスイッチをOFFにします。

3 スケルチ調整ツマミを左に回しきります。

4 電源/音量調節ツマミを右に回し電源を入れます。このとき、ディスプレイが表示します。

5 電源/音量調節ツマミをさらに回して、好みの音量に調節します。

6 スピーカーから「ザー」という音が出ているときは、ノイズが消える位置までスケルチ調整ツマミを右に回します。

また、スピーカーから音声が出ているときは、スケルチ調整ツマミを中程まで回します。

-  ・リセットスイッチを押したときなど、初期設定値が呼び出されたときの周波数表示は、144.000.0となります。
- ・無信号のときに「ザー」という音が消える位置まで調整すると、ディスプレイのBUSY表示が消えます。
 - ・アンテナはコネクター部を持ち、しっかり取り付けてください。

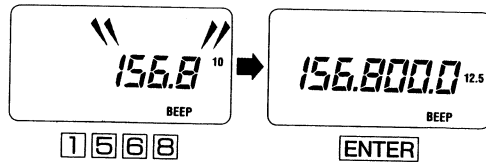
注意

- ・電源スイッチを入れたときに、ディスプレイの表示内容を確認してください。ディスプレイにBATTが表示されたときや、何も表示されないときは、充電または電池を交換してください。
- ・スケルチ調整ツマミを右に回しすぎると弱い電波が受信できなくなり、また、左に回しすぎると雑音などを受信してしまうので、聴きたい電波の強さに合わせて調整してください。
- ・スケルチ調整ツマミを調整するときには、モニタースイッチは押さないでください。

数値キーによる選局

周波数の入力

＜例＞ 156.8MHzを受信したい場合。



周波数を入力します。 エンターキーを押します。

1ステップ移動と早送り、早戻し

■マニュアルモードのとき、アップキーやダウンキーを押すと、周波数が表示の周波数ステップで、1ステップアップまたはダウンします。
また、1秒以上押し続けると、押されている間は受信周波数範囲を早送り、早戻しします。

受信周波数範囲とステップ

無線局の周波数は、その帯域によって、割り当てられている間隔が違います。この割り当て間隔をステップと呼び、本機では、入力した周波数に応じて、最適なステップが自動的に選択されます。

受信周波数範囲(MHz)	選択されるステップ(KHz)
134.0000～155.0000	10
155.0125～162.0250	12.5
335.0000～429.9875	12.5
430.0000～440.0000	10
440.0125～452.0000	12.5
830.0000～999.9750	12.5

マニュアルモードについて

■マニュアルモードとは、SEARCHやSCAN、チャンネルがディスプレイに表示されていない状態をいいます。

マニュアルモードへ移すには
SEARCHが表示されているとき：
サーチキーを押します。



SCANが表示されているとき：
スキャンキーを押します。



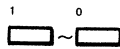
チャンネルナンバーが表示されているとき：
メモリーリードキーを押します。



P表示が点滅しているとき：
ファンクションキー、サーチパ
スリードキーの順で押します。



1 受信したい周波数を、数値キ
ーで最上位の桁から順に入力
します。



2 エンターキーを押すと、周波
数の表示が点滅から点灯に変
わり、入力は完了します。



- ・周波数の小数点入力はありません。
- ・本機の受信周波数範囲以外の周波数を入力すると、1秒間Errorを表示し、入力する前の周波数に戻ります。
- ・本機の選択ステップで登録することのできない周波数が入力されたときは、適合するステップで強制修正されます。(21頁参照)
＜例＞144.0125→144.010.0
- ・キー入力は、最終キーを押してから10秒以内に行ってください。10秒以内に操作をしないと、操作前の周波数に復帰します。

入力周波数の訂正

■目的の周波数を誤って入力したときは、エンターキーを押して始めからやりなおすか、クリア／オールクリアキーを1度押し、数値を訂正します。

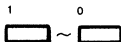
1 クリア／オールクリアキーを1度押します。



2 アップキーを押し、訂正する桁を指定します。



3 数値キーで正しい数値を入力します。



4 エンターキーを押すと、訂正は完了です。

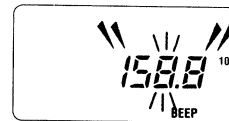
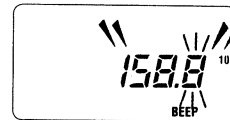
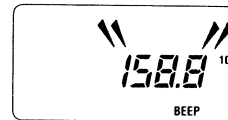


注意

エンターキーを押したあとや、クリア／オールクリアキーを2度押したあとでは、入力周波数の訂正はできません。

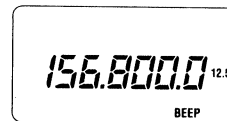
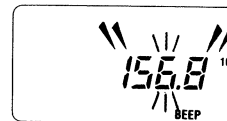
数値キーによる選局

<例> 156.8MHzを入力するつもりが、誤って158.8と入力した場合



クリア／オールクリアキーを1度押すと、入力数値は点滅し、訂正数値は早く点滅します。

アップキーで訂正する桁を指定します。



正しい数値を入力します。

エンターキーを押します。

モニター機能

■交信局の受信信号が弱く途切れるときにモニタースイッチを押すと、弱い受信信号でも途切れなくする機能です。

1 モニタースイッチを押すと、
押している間は、弱い受信信号でも途切れなくなります。



キーロック機能

■誤ってキーが押されても、キー操作を無効とします。持ち運ぶときなど便利な機能です。

1 キーロックスイッチをONに
しますと、キー操作しても動作しません。



第3章 サーチについて

サーチ機能について	26
・バンド指定サーチ	26
・方向指定	27
・連続サーチ	28
サーチバスメモリーについて	30
・サーチバスメモリーのしかた	30
・サーチバスメモリーの呼び出し	32
・サーチバスメモリーの内容確認	33
・サーチバスメモリーの解除	34

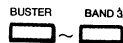
バンド指定サーチ

■目的の周波数がわからないときでも、無線式盗聴器用電波やパーソナル無線など、あらかじめデータ入力されている10個のバンドにダイレクトに飛び込むことができ、自動的に交信局を探す(サーチ)ことができる機能です。

1 スケルチ調整ツマミを回して、ノイズが出ないようにします。



2 サーチバンド選択キーの中から、聴きたいバンドのキーを押します。



3 サーチキーを押すと、自動的に選局を始めます。このときディスプレイには、SEARCHと指定したバンドのナンバー1~9,0のいずれかが表示されます。



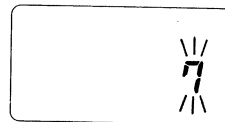
- ・サーチバンド選択キーのBUSTER、FIRE~BAND 3には、あらかじめ59頁のデータが入力されています。聴きたいバンドを選びキー指定の後にサーチキーを押せば、選んだバンドのサーチを開始し交信局を探します。電波が入ればそこで受信となり、電波が2秒以上途切れると再び周波数が移動し、次の交信局を探します。
- ・FIRE~BAND3までの9バンドのデータは、バンドメモリーの方法(52頁参照)で、任意に書き替えることができます。
- ・全ての周波数がサーチパス登録(30頁参照)されているバンドをバンド指定サーチしたときには、モニタースイッチやスケルチの位置に関係なくサーチを行います。が受信はされません。
- ・サーチ中に再度サーチキーを押すと、サーチモードは解除されます。

サーチ機能について

方向指定

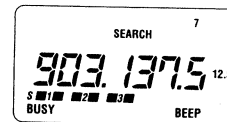
サーチ中にアップキーやダウンキーを押すと、周波数の1ステップ送りとなり、その後は指定された方向へのサーチとなります。

<例> パーソナル無線(PERSONAL)を受信したい場合。



PERSONAL

PEARSONALキーを押します。



SEARCH

SEARCHが表示されるとともに周波数が移動し、交信局を探します。電波が入ればそこで受信となります。

連続サーチ

■周波数がわからないときや、正確にはわからないがほぼ見当がついているときなど、表示の周波数から本機の受信周波数範囲内を、自動的に交信局を探す(サーチ)機能です。

1 スケルチ調整ツマミを回して、ノイズが出ないようにします。



2 おおよその周波数を入力します。

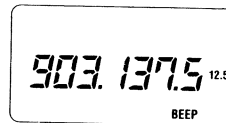
3 サーチキーを押すと、自動的に選局を始めます。



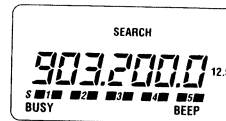
- ・サーチキーを押すと、ディスプレイ表示の周波数から本機の受信周波数範囲内をアップ方向に周波数を移動し、交信局を探します。電波が入ればそこで受信となり、電波が2秒以上途切れると再び周波数が移動し、次の交信局を探します。
- ・サーチ中に再度サーチキーを押すと、サーチモードは解除します。
- ・受信周波数のだいたいの見当がついているときは、あらかじめ周波数入力したあとサーチを行い、アップキーやダウンキーを使用すれば、目的の交信局を探すときに便利です。

サーチ機能について

＜例＞ 表示の周波数からサーチを開始する場合。



現在の表示



SEARCH

サーチキーを押すと、周波数が表示のステップで自動的に移動し、交信局を探します。電波が入れば、そこで受信となります。

サーチパスメモリーのしかた

■バンド指定サーチ中や連続サーチ中に、雑音や常時電波が出ている不要局などの周波数を、サーチパスメモリーすることで、その後のサーチモードではその周波数は受信しなくなり、効果的にサーチできます。

1 バンド指定サーチか連続サーチを行います。
(26～29頁参照)

2 雑音や常時電波が出ている不要局などの周波数でサーチが停止したら、ファンクションキーを押します。



3 バスキーを押します。このとき、ピープ音が「ピッピッ」と鳴れば完了です。



4

自動的に再びサーチを始めます。



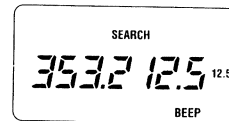
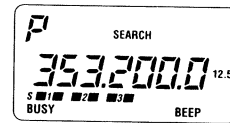
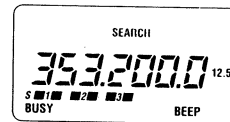
- ・サーチパスメモリーは、最大100の周波数が登録できます。
- ・101以上のサーチパスメモリーが行われたときは、FULの表示を1秒間行ったあと、キー操作される前の状態に戻ります。
- ・サーチパスメモリーされた周波数は、サーチモードのときのみパスされます。

注意

- ・サーチパスメモリーは、サーチ受信中以外には登録できません。
- ・BUSTERのチャンネルはサーチパスメモリーができません。

サーチパスメモリーについて

<例> 連続サーチで受信している353.2MHzをサーチパスメモリーしたい場合



FUNCTION → PASS

登録は完了です。

1秒後にP表示は消え、サーチを開始します

サーチパスメモリーの呼び出し

- サーチパスメモリーした周波数を、マニュアルモードやサーチ停止中に呼び出すことができます。

1 ファンクションキーを押します。



2 サーチパスリードキーを押すと、サーチパスメモリーした周波数が呼び出されます。



- ・サーチパスメモリーがないときは、呼び出すことはできません。
- ・最初に呼び出されるサーチパスメモリーは、マニュアルモードの周波数に、アップ方向で一番近い周波数です。
- ・サーチパスメモリー呼び出し後に、再度ファンクションキー、サーチパスリードキーの順で押すと、マニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・サーチパスメモリーの呼び出しをすると、ディスプレイのP表示が点滅となります。

サーチパスメモリーについて

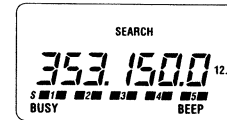
サーチパスメモリーの内容確認

- サーチパスメモリー呼び出し後、アップキーやダウンキーを押すと、前後のサーチパス周波数が呼び出されます。



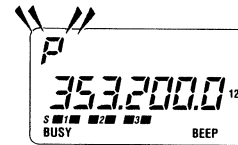
- ・サーチパスメモリーが1個しか登録されていないときは、アップキーとダウンキーを押しても変化しません。

<例> サーチパスメモリーした周波数を呼び出す場合



FUNCTION

ファンクションキーを押します。



S.P. READ

呼び出しは完了です。

サーチパスメモリーについて

サーチパスメモリーの解除



・解除のあとに、再度ファンクションキー、サーチパスリードキーの順で押すと、マニュアルモードの周波数に戻ります。

1 サーチパスメモリーを呼び出します。

2 アップキーやダウンキーを押し、パス解除したいサーチパスメモリーを指定します。



3 ファンクションキーを押します。



4 パスキーを押すとパス解除は完了です。
このとき、次のサーチパスメモリーの周波数がディスプレイに表示されています。



第4章

メモリーとスキャンについて

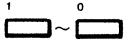
チャンネルメモリーのしかた	36
・チャンネルメモリー	36
メモリーチャンネルの呼び出し	38
・メモリーチャンネルの呼び出し	38
・チャンネル送り	39
・マニュアルモードへの移動	40
・パスメモリーのしかた	41
・チャンネルメモリーの消去	42
チャンネルメモリースキャンについて	44
・チャンネルメモリースキャンのしかた	44
・方向指定	45
バンクスキャンについて	46
・バンクスキャンのしかた	46
プライオリティ機能について	48
・プライオリティチャンネルの登録	48
・プライオリティ受信のしかた	50

チャンネルメモリー

- 本機のメモリーチャンネルは100ch(1ch~100ch)あり、マニュアルモードやサーチ(BUSTERを除く) 停止中に登録することができます。
- 本機のメモリーチャンネルは、10chを1バンクとし、合計10バンク(100ch)のメモリーを可能としています。チャンネルメモリーをするときに、メモリー内容をグループ分けし、各バンクに対応したチャンネルに登録をすると、バンクスキャンが有効となります。(46頁参照)

1 目的の周波数を入力します。

2 希望のメモリーチャンネル(1ch~100ch)を数値キーで指定します。このときディスプレイに表示されている数値が点滅します。



3 ファンクションキーを押します。

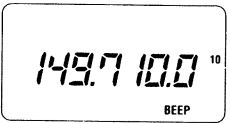


4 メモリーライトキーを押します。ピープ音が「ビッピツ」と鳴れば完了です。

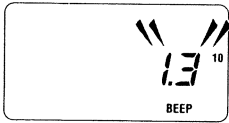


- ・連続して登録するときは、メモリーチャンネルの数値キー指定を省略できます。このときのメモリーチャンネルは、最後に登録したチャンネルにプラス1されたチャンネルとなります。
- ・101ch以上のメモリーチャンネルを登録しようとする、Error の表示を1秒間行ったあと、キー操作される前の状態に戻ります。また、すでに登録されているチャンネルに新たに登録すると、前の登録内容は書き替われます。
- ・0chへの登録は、プライオリティチャンネルの登録となります。(48頁参照)
- ・チャンネルを指定せずに100以上の連続登録すると、1chから順に登録内容が書き替われます。

<例> 149.71MHzを13chに登録したい場合



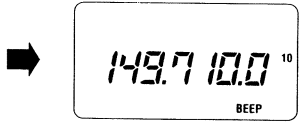
ENTER
周波数を入力します。



1 3
メモリーチャンネルを指定します。



FUNCTION → MEM. WRITE
登録は完了です



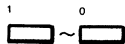
1秒後、チャンネルナンバーの表示は消え、周波数のみの表示となります。

メモリーチャンネルの呼び出し



- ・チャンネルナンバーを指定せずに、メモリーリードキーを押したときは、それ以前に呼び出されていたチャンネル（ラストチャンネル）が呼び出されます。
- ・チャンネルメモリーのと、メモリーリードキーを押したときは、最後にメモリーしたチャンネルにプラス1されたチャンネルが呼び出されます。
- ・1ch~100chまでメモリーされていないチャンネルも呼び出せますが、このときの周波数は 000.000.0 を表示します。
- ・0chを呼び出したときは、プライオリティチャンネルの呼び出しになります。
- ・101ch以上のメモリーチャンネルを呼び出したときには、ディスプレイに Error を1秒間表示したあと、誤操作の前の状態に戻ります。
- ・メモリー呼び出し後に、再度メモリーリードキーを押したときには、メモリー呼び出し前に受信していたマニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・バスメモリーしたチャンネルを呼び出したときは、ディスプレイのCHが点滅となります。

1 数値キーで呼び出すチャンネルを指定します。
このとき、ディスプレイに表示されている数値が点滅します。



2 メモリーリードキーを押します。

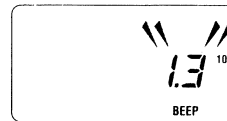


メモリーチャンネルの呼び出し

チャンネル送り

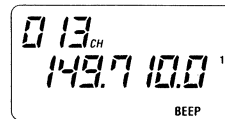
- メモリー呼び出しのあと、アップキーやダウンキーを押すと、1チャンネルのアップやダウンとなります。またアップキーやダウンキーを押し続けたときは、1ch~100ch間の早送りや早戻しとなります。

<例> 13chに登録されている149.71MHzの周波数を呼び出す場合



1 3

呼び出すメモリーチャンネルを指定します。



MEM. READ

呼び出しは完了です。

マニュアルモードへの移動

■チャンネルメモリーの周波数を、そのままマニュアルモード（VFO）に移すことができます。

1 希望のメモリーチャンネルを呼び出します。

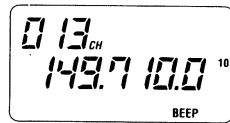
2 ファンクションキーを押します。



3 メモリーVFOキーを押すと操作は終了です。

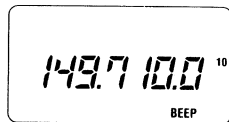


13chを呼び出し、メモリーされている149.71MHzをマニュアルモードに移す場合



1 3 → MEM.READ

メモリーチャンネルを呼び出します。



FUNCTION → M VFO

マニュアルモードへ移動します。

パスメモリーのしかた

■メモリー呼び出しのあとや、スキャンモード(44頁参照)で信号を受信しているときに、パスメモリーを設定すると、その後のスキャンモード中に、そのチャンネルを受信しないようにはたります。

1 パスメモリーしたいメモリーチャンネルを呼び出します。

2 ファンクションキーを押します。



3 パスキーを押します。



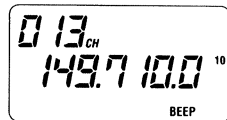
・スキャンモードでの受信時（スキャン停止中）は、メモリーチャンネルの呼び出し状態になっています。

メモリーチャンネルの呼び出し



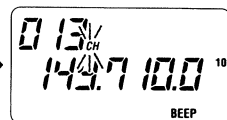
- ・メモリー呼び出しのあと、再度ファンクションキー、パスキーの操作で、パスメモリーは解除されます。
- ・チャンネルメモリーされていないチャンネルでは、パスメモリーは受け付けません。
- ・パスメモリーされたチャンネルは、メモリー呼び出しを行なったとき、チャンネルナンバーのCHが点滅します。
- ・プライオリティチャンネルをパスメモリーすることはできません。(48頁参照)

＜例＞すでに登録されている13chをスキャンモードからパスしたい場合



1 3 → MEM.READ

メモリーチャンネルを呼び出します。



FUNCTION → PASS

13チャンネルのパスメモリーが完了です。

チャンネルメモリーの消去

■登録したチャンネルの内容を消去したいときに使います。



- ・チャンネルメモリーの内容を消去すると、周波数の表示は000.000.0となります。
- ・受信中のメモリーチャンネルを消去したときには、チャンネルメモリーの内容は消去されますが、他のモードに入るまで受信は継続されます。
- ・プライオリティチャンネルのメモリー消去はできません。

1 消去したいチャンネルを呼び出します。

2 ファンクションキーを押します。

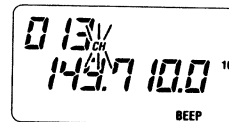


3 メモリーライトキーを押すと操作は終了です。



メモリーチャンネルの呼び出し

<例> 13chのメモリーチャンネルの内容を消去したい場合



1 3 → MEM.READ

消去したいメモリーチャンネルを呼び出します。



FUNCTION → MEM.WRITE

消去は完了です。

チャンネルメモリースキャンのしかた

■チャンネルメモリースキャンとは、あらかじめ登録したチャンネルメモリー(1ch~100ch)を順に呼び出しながら、自動的に交信局を探し出す機能です。また、電波が2秒以上途切れると再び次の交信局を探し始めます。



- ・もう1度スキャンキーを押すと、スキャンモードを解除します。
- ・スキャンモード中に、スキャンキー、メモリーリードキーの順で押すと、マニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・登録されているチャンネルのみをスキャンし、なにも登録されていないときは、スキャンモードに入りません。
- ・登録されているチャンネルが、すべてパスメモリーされているときには、ディスプレイにALL PASSを1秒間表示し、スキャンモードに入りません。

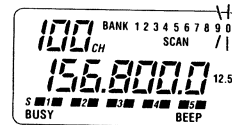


1 あらかじめスケルチ調整ツマミを回し、ノイズが出ないようにします。



2 スキャンキーを押すと、自動的に選局を始めます。このとき、ディスプレイにはSCANと登録されているチャンネルのバンクナンバーが表示され、受信したチャンネルに対応するバンクナンバーが点滅します。

<例> 登録した各チャンネルをスキャンしたい場合



SCAN

スキャンキーを押すとSCANが表示され、自動的に登録したチャンネルを移動し、交信局を探します。

方向指定

■方向指定

チャンネルメモリースキャン中やバンクスキャン(46頁参照)中に、アップキーやダウンキーを押すと、1チャンネル送りとなり、その後は指定された方向へのスキャンとなります。

バンクスキャンのしかた

■本機のチャンネルメモリーは、10チャンネルを1バンクとし、合計10バンク、100チャンネルの登録を可能としています。スキャンモードに入るとき、数値キーでスキャンしたいバンクナンバーを指定してからスキャンキーを押すと、特定のバンクのみをスキャンすることができます。

3

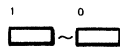
スキャンキーを押すと、指定バンクのスキャンを始めます。



・バンクナンバーとメモリーチャンネルの関係

バンクナンバー(BANK)	1	2		9	0
メモリーチャンネル(ch)	1~10	11~20		81~90	91~100

- ・スキャン中に、スキャンキー、メモリーリードキーの順で押すと、マニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・キー指定したバンクスキャン機能は、次に他のモードに入ると解除されます。
- ・バンクスキャン指定したすべてのチャンネルがパスメモリーされているときには、ディスプレイに ALL PASS を1秒間表示した後、直前の受信状態に戻ります。
- ・バンク指定は、メモリーされているバンクのみ受け付けられます。

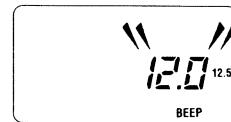


1 あらかじめスケルチ調整ツマミを回しノイズが出ないようにします。

2 数値キーでスキャンしたいバンクを指定します。
スキャンしたいバンクは、数値キーを続けて押すことで最大7バンクまで指定できます。このとき、ディスプレイに指定した数値が点滅します。

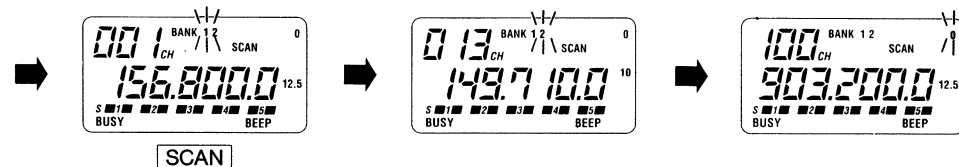
バンクスキャンについて

<例> あらかじめチャンネルメモリーされている10バンク中のバンク1(1~10ch)、バンク2(11~20ch)、バンク0(91~100)のみをスキャンさせたい場合



1 2 0

スキャンバンクを指定。



スキャンキーを押すと指定されたバンクをスキャンします。このときディスプレイには、1、2、0のバンクナンバーが点灯し、信号を受信すると現在のバンクナンバーが点滅します。

プライオリティチャンネルの登録

■プライオリティ機能とは、0chに登録された周波数が最優先チャンネルとなり、メモリスキャンやサーチ、メモリー呼び出し受信、マニュアル受信のいずれにおいても、5秒おきにモニターする機能です。(プライオリティチャンネルは、ディスプレイのメモリーチャンネルナンバー表示部にPCHで表示されます。)

1 マニュアルモードで優先したい受信周波数を入力します。

2 数値キーの0を押します。

3 ファンクションを押します。



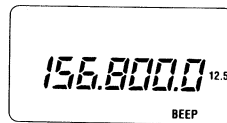
4 メモリーライトキーを押すと、ビープ音が「ビッピッ」と鳴り登録終了です。



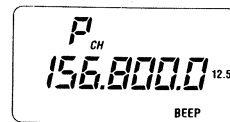
- ・プライオリティチャンネルの登録は、0chにメモリーすることで登録できます。
- ・プライオリティチャンネルの初期設定値は144.0MHzとなっています。
- ・プライオリティチャンネルの登録内容の確認は、0chのメモリー呼び出しでできます。

プライオリティ機能について

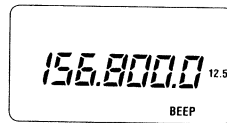
<例> 156.8MHzをプライオリティチャンネルとして登録したい場合



周波数を入力します。



登録は完了です



1秒後、PCHの表示は消えます。

プライオリティ機能について

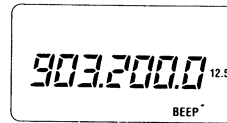
プライオリティ受信のしかた

＜例＞ プライオリティ機能を設定したい場合。

1 ファンクションキーを押します。



2 プライオリティキーを押すと、プライオリティ機能が設定されます。このとき、ディスプレイにPRIを表示します。



FUNCTION → PRIORITY

ファンクションキーとプライオリティキーを順に押すと、5秒おきにプライオリティチャンネルが表示されます。

- ・プライオリティ機能は、再度ファンクションキー、プライオリティキーの順で押すと解除できます。
- ・プライオリティチャンネルで受信したときは、信号が無くなるまで受信を継続します。

第5章 便利な機能

サーチバンドの内容書き替え	52
ビーブ音の消去	54
ランプ機能	54

バンドメモリーのしかた

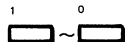
■本機のサーチバンド選択キーのBUSTER、FIRE～BAND 3には、あらかじめ59頁のデータが入力されています。
FIRE～BAND 3 の内容を受信範囲内で任意に書き替えることができます。

1 あらかじめ、マニュアルモードにします。

2 ファンクションキーを押します。

3 バンドライトキーを押します。

4 下限周波数を入力します。



5 エンターキーを押します。



6 上限周波数を入力します。



7 エンターキーを押します。



8 書き替えるサーチバンド選択キーを押します。



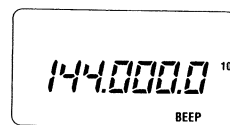
9 エンターキーを押します。
ピープ音が「ビッピッ」と鳴り、書き替えが完了します。



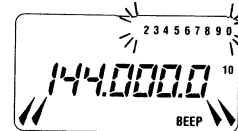
- ☞
- ・下限周波数と上限周波数の入力順序が逆であっても、バンドメモリーは受け付けます。
 - ・BUSTERの書き換えはできません。

サーチバンドの内容書き替え

＜例＞ バンド選択キー(BAND 3)に書き込まれている内容を、422.2MHz～422.3MHzとしたい場合



マニュアルモードにしておきます。



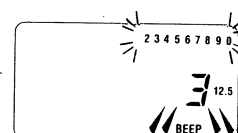
FUNCTION → BAND WRITE
ファンクションキーとバンドライトキーを順に押します。



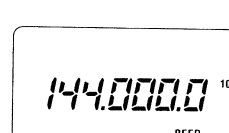
4 2 2 2 → ENTER
下限周波数を入力します。入力後、周波数の表示は消えます。



4 2 2 3 → ENTER
上限周波数を入力します。入力後、周波数の表示は消えます。



BAND 3
サーチバンド選択キー(BAND 3)を押します。



ENTER
エンターキーを押すと書き替えが完了し、周波数がはじめの状態に戻ります。

ビープ音の消去

1 ファンクションキーを押します。



2 ビープキーを押すと、ビープ音を消去します。



- 再度ファンクションキー、ビープキーの順で押すと、ビープ音が復帰します。
- ビープ音が鳴るように設定されているときは、ディスプレイにBEEPを表示します。
- 本機は、操作が確実に行われたかどうかを、ビープ音で知らせます。
- ビープ音の種類は次のようなものがあります。
 - 数値キー、単独キーの受け付け……………「ビッ」
 - 登録完了(メモリー登録、メモリー消去)……………「ビッビッ」
 - エラー……………「ビッポッポッ」

注意 ・ビープ音の消去は、数値キーの入力途中（点滅状態）やサーチ中、スキャン中は設定できません。

ランプ機能

■夜間などの使用のときに、ディスプレイを照らします。

1 ランプスイッチを押します。
押している間は、ランプは点灯し続けます。



第6章 知っておきたいこと

故障かな? と思ったら……………	56
アフターサービスについて……………	58
一般仕様……………	58

故障かな？と思ったら

■修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い求めの販売店、または弊社営業所・サービス部（添付の一覧表をご参照願います。）にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
ディスプレイに何も表示されない。	電池が消耗している。	充電するか電池を交換する。 (15、16頁参照)
ときどきPCHが表示される	プライオリティ機能がはたらいている。	プライオリティ機能を解除する。 (50頁参照)
P表示が点滅している	サーチパスメモリーを呼び出している。	マニュアルモードにする。 (21、32頁参照)
受信が途切れる	スケルチ調整が誤っている。	スケルチ調整を正しく行う。 (18、19頁参照)
	交信局の電波が弱い。	モニタースイッチを押す。 (24頁参照)
キーを押しても動作しない。	キーロックスイッチがONになっている。	キーロックスイッチをOFFにする。 (24頁参照)
周波数を入力できない。	受信周波数範囲でない周波数を入力している。	受信周波数範囲内の周波数を入力する。 (21、58頁参照)

症 状	原 因	処 置
サーチができない	スケルチ調整が誤っている。	スケルチ調整を正しく行う。 (18、19頁参照)
	モニタースイッチを押している。	モニタースイッチを離す。 (24頁参照)
スキャンができない。	スケルチ調整が誤っている。	スケルチ調整を正しく行う。 (18、19頁参照)
	モニタースイッチを押している。	モニタースイッチ離す。 (24頁参照)
	すべてのメモリーチャンネルがバスメモリーされている。	バスメモリーを解除する。(41頁参照)
	すべてのメモリーチャンネルに何も登録されていない。	チャンネルメモリーを行う。 (36、37頁参照)
充電しない。	電源／音量調節ツマミがONになっている。	電源／音量調節ツマミをOFFにして充電する。(15頁参照)
	電池の寿命。	交換する。(16頁参照)
	カーコネクターのヒューズが切れている。	ヒューズを交換する。

アフターサービスについて

一般仕様

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」等の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りいただき、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。

■修理を依頼されるとき

- ・保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い求めの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。
- ・保証期間が過ぎているとき
お買い求めの販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービス等についてご不明の点は

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います。)にお問い合わせください。

受信周波数

134.0～162.025MHz
335.0～452.0MHz
830.0～999.975MHz

周波数ステップ

10/12.5kHz(自動選択)

受信電波型式

NFM

受信感度

0.35μV標準(SINAD 12dB)※一部の周波数範囲を除く。

メモリー数

チャンネルメモリー：100
バンドメモリー：10
プライオリティチャンネルメモリー：1
サーチパスメモリー：100

スキャン／サーチスピード

1秒間に約30チャンネル／40ステップ
※BUSTERサーチは約27ch/2秒

アンテナインピーダンス／型式

50Ω／BNC

電源

ニッケル電池4本(4.8V)
外部電源12V(充電兼用)

スピーカー最大出力

100mW以上(4.8V 8Ω THD 10%)

消費電流

最大出力時：140mA(標準)
待ち受け時：65mA(標準)

動作保証温度範囲

0℃～50℃

外形寸法

59(W)×147(H)×38(D)mm(突起部含まず)

重量

280g(アンテナ含まず)

付属品

- ・フレキシブルアンテナ (1)
- ・ACアダプター (1)
- ・カーコネクター (1)
- ・ニッケル電池 (4)
- ・ハンドストラップ (1)
- ・ベルトクリップ (1)
- ・ベルトクリップ取付用ネジ (2)
- ・イヤホン (1)
- ・取扱説明書 (1)
- ・保証書 (1)
- ・ご相談窓口一覧 (1)

バ ン ド		エッジ周波数(MHz)		ステップ (kHz)
		下 限	上 限	
1	BUSTER	27チャンネルメモリースキャン		
2	FIRE	146.01	155.0	10
3	MARINE	156.0	162.025	12.5
4	POLICE U	347.7125	362.25	12.5
5	TAXI	450.0125	451.5	12.5
6	MCA	850.025	859.975	12.5
7	PERSONAL	903.0375	904.9875	12.5
8	BAND 1	134.0	162.025	10／12.5
9	BAND 2	335.0	452.0	10／12.5
10	BAND 3	830.0	999.975	12.5

上記は初期既入力値